

令和5年第3回 高千穂町議会定例会

一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【 6 名 10 件 】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
9月12日 (火) 10:00~	1	板倉哲男 議員	1件	1. こども政策の拡充について	1
	2	工藤博志 議員	1件	1. 町政全般について	6
	3	佐藤さつき 議員	2件	1. 地元産有機米の給食食材使用について 2. ゴミの出し方について	8
	4	藤田利廣 議員	1件	1. 高千穂観光について	9
	5	磯貝助夫 議員	1件	1. 本町のスポーツ環境の改善を	10
	6	田中義了 議員	4件	1. TR跡地の賃貸借契約に係る問題点と概要について 2. 過去の業務契約に係る成果品の内容について 3. 災害による簡易水道の給水制限対策について 4. 木のおもちゃ美術館の建設・運営について	11

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	板倉哲男 議員	1. こども政策の拡充について	<p>現在の日本における最大の課題は、少子高齢化が進行することによる人口減少であることは、言うまでもありません。</p> <p>国は、これまで内閣府や厚生労働省等に分散していたこども政策を一本化し、こども政策を更に進めるために、本年4月より、こども家庭庁を設置しました。また、地方自治体においても、様々なこども政策が展開されており、こどもにやさしく、子育てをしやすい社会づくりを推進する機運が、かつてない程に高まっています。</p> <p>本町においても、こども政策を推進し、「高千穂町で子育てができてよかった」さらには「高千穂町で子育てをしたい」と思ってもらえるまちになる必要があります。</p> <p>今後、本町において取り組むべきこども政策について考えていきたいと思えます。</p> <p>●出産応援ギフトとして本町産ベビー用品の活用</p> <p>国は令和4年度に出産・子育て応援交付金を創設しました。これは、地方自治体の創意工夫により、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、そして経済的支援を一体として実施する事業を支援するために、国から地方自治体に交付されるものです。</p> <p>本町でも今年度から、この交付金を活用した事業が始められており、その中に、「出産・子育て応援ギフト」があります。</p> <p>これは、妊娠届出時に妊婦1人あたり5万円相当、出生届出時にこども1人あたり5万円相当のギフトを支給できる内容となっています（財源は国2/3、都道府県1/6、市町村1/6）。</p> <p>5万円相当のギフトは地方自治体の創意工夫のもとで執行することができ、クーポン、サービス利用券、交通費やベビー用品の購入・レンタル費用助成など、幅広い方法で支給可能です。</p> <p>また、現金での支給も可能で、本町を含め多くの自治体では現金給付となっているようです。しかし、現金での支給について、国としては「オプションとして排除されない」が、「将来的にはクーポンなどの給付方法について検討いただきたい。」としています。理由としては、現金給付の場合、出産・子育て以外の用途に使用される可能性があるからです。</p> <p>そこで、出産応援ギフトについて、確実に出産・子育てに使用されるように、現在の現金給付ではなく、</p>	町長

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

ベビー服などの現物支給やベビー用品の購入費助成などに使えるように改めてはどうかと思います。

本町には国内を代表するベビー用品メーカーの工場があり、本町のふるさと納税の返礼品にもなっています。

まち全体でこどもを支援する取り組みの一環として、本町で生まれたこどもが、本町で製造されたベビー用品に囲まれて育つ環境整備に取り組んではいかがでしょうか。

●子育て応援ギフトとしての、おむつなどの定期便

上記と同じ理由で、子育て応援ギフトについても、現在の現金給付ではなく、おむつなどの子育てする上で必須となる物品を定期便として支給するようにはどうかと思います。

おむつの定期便は、2016年に滋賀県東近江市で始まり、現在では明石市や厚木市など、全国に類似事業が広がっています。事業の概要は、毎月、おむつなどの消耗品を自宅まで届けるというものです。

事業目的は、まず第一に、子育て世帯の負担軽減で、経済的な支援となることはもちろん、大きな荷物となるおむつの買い物の回数を減らすことができます。そして第二に、毎月お届けすることで、子育て世帯を社会から孤立させないことです。

東近江市ではおむつを届けるだけでなく、配達員が「お変わりないですか」などと声掛けし、悩みごとの相談にも応じているそうです。

本町においても、子育て応援ギフトを活用し、おむつなどの定期便に取り組んではどうかと思います。

●おむつの定額利用の取り組みおよび支援

宮崎県は今年度6月議会における補正予算で、全国初となる、保育所で使用するおむつの定額利用に対する助成事業に取り組むことを決めました。

おむつの定額利用とは、毎月、定額の利用料を業者に支払うことで、紙おむつを保育施設へ直接届けてもらうサービスです。

通常は園児の保護者がおむつを持ち込む必要があるところを、このサービスを利用すれば、持ち込む必要がなくなるため、保護者の負担軽減につながります。また、通常は保育園などが、持ち込まれたおむつを各園児ごとに管理する必要があるところを、このサービスを利用すれば、管理する手間も省かれ、保育園側としても負担の軽減となります。

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

県の助成内容は、市町村が定額利用料の1/3を負担するなら、県も1/3を負担するというものです。おむつの定額利用料は企業により違いはあるものの、概ね3,000円程度であり、助成を受ければ、実際の利用者の負担は1,000円程度になります。

報道によれば定額制ではない場合、おむつ1枚20円として週6日の利用の場合は、1カ月に2,400円のおむつ代がかかっているとのことで、この事業を活用すれば利用者の負担軽減につながるということです。

本町の福祉保険課によれば、今とこのころ、おむつの定額利用を求める声は聞いていないとのことですが、今のこの状況は定額利用を希望していないのではなく、町内の保育園やその利用者が、おむつの定額利用を体験したことがないため、そのメリットがわからない、ということだと思えます。

実際に、県より先に、おむつの定額利用の支援に取り組んでいる本県的美郷町では、企業の協力のもと、2カ月間の試用期間において、おむつの定額利用を実施したところ、その後のアンケートで、保護者の90%が継続を希望したそうです。

本町の場合、町立と民間の保育園がありますが、まずは町立保育園において、おむつの定額利用とそれに対する助成に取り組んでみてはどうかと思えます。

●一時預かりの利用促進

共働き家庭の増加などにより、多くの未就学児は保育園や幼稚園に通っていますが、いずれの施設やサービスにもつながっていない、いわゆる未就園児も一定程度存在しています。

未就園そのものは問題ではないものの、そうした家庭は社会とのつながりが希薄になりやすく、孤独な子育てに追い込まれた結果、精神的な負担や子育てについての悩み、不安を感じる割合が高いことが指摘されています。

育児疲れを抱える保護者に対する支援のひとつに、一時預かりがあります。一時預かりは、就労準備や病気、冠婚葬祭等で一時的に家庭での保育ができない場合に、就学前の児童を保育所等で保育するもので、保護者のリフレッシュ目的にも利用することができます。

しかし、本町の一時預かりの利用状況は、平成30年には700件以上あった利用が、令和3年度には400件程度と減少傾向にあります。

一時預かりの利用を町として推進し、支援の拡充を図ってはどうかと思えます。

<次頁へ続く>

＜前頁から続き＞

一時預かりの利用を増やすにあたってネックになるのが、リフレッシュ目的で子どもを預けることに、少なからず罪悪感を感じてしまうという心理的ハードルです。

この心理的ハードルを下げるために、町として積極的に、「リフレッシュ目的で子どもを預けてもよい」というメッセージを発信すべきだと思います。

例えば、大阪府枚方市では、リフレッシュを目的とした一時預かりを2日間無料で利用できる「一時預かりリフレッシュ券」という制度を導入しています。そもそもリフレッシュ目的で一時預かりを利用してよいことを知らない人もいるのが現状で、枚方市ではこうした取り組みをすることで、一時預かりの新たな利用につながっているようです。

本町においても、リフレッシュ目的の一時預かりの利用促進を図るため、「リフレッシュ目的で子どもを預けてもよい」というメッセージを町広報などで発信するとともに、枚方市の「一時預かりリフレッシュ券」のような制度を導入してはどうかと思います。

●天岩戸の湯での託児

子育て中の保護者の悩みのひとつに、「ゆっくりお風呂に入れたい」ということがあります。

そこで、時にはゆっくりとお風呂に入ってもらおうと、銭湯や温泉施設において、託児に取り組んでいるところがあります。

取り組み内容は場所によりそれぞれですが、イベント的に月に1回～数回、施設内で託児に取り組むというケースがほとんどです。

こうした取り組みは、子育てをする保護者の支援にもなり、また、銭湯や温泉施設の利用促進にもつながります。

本町でも天岩戸の湯において託児に取り組んではどうかと思います。

以上を踏まえ、町長に伺います。

1, 出産応援ギフトに本町産ベビー用品を活用してはいかがでしょうか。

2, 子育て応援ギフトとして、おむつなどの定期便に取り組んではいかがでしょうか。

3, 町内の保育園などにおいて、おむつの定額利用の助成に取り組んではいかがでしょうか。

＜次頁へ続く＞

＜前頁から続き＞

4, 保護者の支援のため、一時預かりの利用促進に取り組んではいかがでしょうか。

5, 天岩戸の湯において託児を実施してはどうでしょうか。

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	工藤博志 議員	1. 町政全般 について	<p>1 農業対策について</p> <p>自然環境・気象や社会情勢に左右されやすい農業は国内・海外を問わず条件は同様と考えます。一方農業は人の命の根源をつくる食料生産・供給する使命もあります。</p> <p>その使命感を先祖代々受け継いで農地・田畑を必死で守っている高齢農家・農業者がほとんどであります。</p> <p>昨今、「持続可能」という言葉が使われますが農業には定年がありません。80歳・90歳の方々は健康の秘訣は農作業をがまだす事と言われます。この人たちに支えられてこそ持続可能な農業は守られているといっても過言でない担い手や、新規就農者支援同様にまだまだやる気のある高齢農家・農業者に対する支援策をどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>2 土木業者について</p> <p>景気の盛り上がっている当時は多くの業者があった。不景気・人口減少・過疎化など重なり土木業者は激減している。大きな災害の無い年には通常の事業請負でいいが、昨年のような大災害が発生すると単年度での復旧や復興は不可能に近い。</p> <p>九州中央道路建設工事が五ヶ瀬・高千穂間で始まり高千穂・雲海橋間も事業化されている。この区間の工事では十数年以上かかる予測であります。</p> <p>本体工事とは別に取り付け道路や進入路工事など各種多様にあると聞いている。廃業はしていても資格や資機材のある方、新規に起業を希望される方などに情報提供し、土木業者の育成をすることが緊急災害時への備えをはじめ雇用の場確保や人口減少緩和にも繋がると考えますが伺います。</p> <p>3 町長部局のスリム化について</p> <p>① 令和6年度より3町立病院が統合運営される。本町では町病院と保健センターの連携により訪問看護サービスが提供されている。民間業者で出来る事は民間業者でというのが町政の基本方針のもと、ふれあいバス事業・ときわ園運営や体育施設管理などを民間委託している。</p> <p>古くは保育園の民間移譲が始まりで、最近では道の駅、がまだせ市場鬼八の蔵をまちづくり公社への指定管理制度で委託し積極的に取り組んできている。合理的・効果的な行政運営を行う上にも是非検討すべき課題であり、今回の統合の機会がチャンスではと考えますが伺います。</p>	町長

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

② 数年前に総合政策室を設置され、その後総合政策課が誕生しています。目的は本町の課題解決策の検討、新たな事業計画の作成を担う課と考えています。一方同様の事業を行ってきた企画観光課とのすれ違いが多いような気がするのかもしれませんが、事業区分を明確にして職員が働きやすい環境を作ることも大事だと考えます。企画と総合政策を一本化し、観光は以前の商工観光にするなど工夫とスリム化の考えは無いか伺う。

4 道路整備について

国・県道については県・支庁の所管でありご尽力により利便性の高い改良・整備が進んでいることに感謝している。町道において優先順位を決め、積極的に道路改良・整備に務められておることに感謝しています。今後は過疎化・人口減少とともに交通量も減少する事も考えられます。

幅員の狭い箇所に離合場所や急カーブの切り取りなどを行い、少ない予算で多くの要望箇所を整備できる方法を検討する時期が来ているのではないかと考えますが伺う。

5 町有財産について

町が保有している土地・建物・施設・各部署からの不要備品などの情報を広く公開し、官公庁オークションやネットショップを活用して積極的に売却・譲渡をすすめて行く考えを伺う。

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	佐藤さつき 議員	1. 地元産有機米の給食食材使用について	<p>本町が児童生徒への、安心安全な給食を提供する政策の一つとして、米飯給食の米を、地元で生産された有機米を取り入れる件について、議会では先進地視察を行い6月の定例会で報告しました。</p> <p>先進地では、有機米を学校給食に取り入れるに至った経緯として、将来的に地域の農業を守るための手段として地元産の作物をブランド化した結果行った事例でした。</p> <p>1 本町で計画している給食用有機米の生産について、現状は。</p> <p>2 先進地では農業を守るために広い視点で展開されており、結果的に人口減少対策や農業の後継者不足対策にも対応していました。</p> <p>高千穂町として、今後どのように展開していこうと考えているのでしょうか。 以上2点について、伺います。</p>	町長 教育長
		2. ゴミの出し方について	<p>令和5年4月より家庭からのゴミの出し方が変わりました。</p> <p>必ず袋は結ばないと出せなくなり、大きな燃やせるごみは布団以外は解体して袋に入れ、袋を被せることができなくなりました。</p> <p>この件について伺います。</p> <p>1 袋を被せて出したらいけない理由について。また、布団は特例の理由。</p> <p>2 本町でも高齢化や高齢者の1人暮らしが増加している中、家具はもちろんのこと、衣装ケースなどの軽いものでも解体できない町民がいます。持ち込みもできない、解体もできない町民の対応は。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
4	藤田利廣 議員	1. 高千穂観光について	<p>観光地高千穂を目指す「高千穂町」は今大変な事となっています。観光客が高千穂に来たくても来れない、また折角お越しいただいても十分に観光できない状況であります。</p> <p>まず、宿泊ができない、食事をするところが無い、特に土曜、日曜が大変です。交通のアクセス（熊本間）も悪く、観光客は大変であります。年間約20万人の方が宿泊をされ、食事をされますが、受け入れ側の町はどのように対応策をされるのか。また、5年10年先の観光客の受け入れも増加されると見込まれますが、現在のような状況では5年10年にはただ、通りすがりの観光地になるのではないかと心配されます。観光協会、飲食業組合、旅館組合、商工会との連携対策について話し合い、検討されているのか。また、まちづくり公社が発足して1年になりますが、まちづくり公社の観光地づくりはないのでしょうか。</p> <p>今後の高千穂観光について、次の質問をしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. まちづくり公社の今後の観光計画について。 2. 5年から10年先の観光地整備について。 3. 高千穂町への入込は熊本県側からが多く、レンタカー利用の場合の駐車場の確保はどうか。入込の多い日には定期的なバス運行を行うなど、検討してはどうか。 4. 熊本からの入込に対しての公共交通の便が非常に不便。阿蘇や黒川温泉あたりとの連携など取り組んではどうか。 5. 高千穂の目玉商品の開発は。 <p>以上、5点について伺いたい。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	磯貝助夫 議員	1. 本町のスポーツ環境の改善を	<p>陸上競技や水泳競技などの競技者、団体関係者及びスポーツを楽しむ町民とふれあうことで、多くの意見を聞く。若い人は、記録にチャレンジし、高齢者は健康と地域の方々とのふれあいの場として活動している。陸上競技を見ると小学校は高千穂陸上クラブ、岩戸ジュニア陸上クラブを中心に保護者や、地域の指導者が監督を務め活躍している。中学校では、高千穂中学校陸上部が、高校では高千穂高校陸上部が、それぞれ先生が監督となり活躍している。小学生から始め中学、高校と陸上競技を続ける子もおり環境次第では、県や、全国で活躍する選手が誕生することも考えられる。水泳競技は、小・中・高生が、たかちほスイミングスクールで県、全国を目指し部外の監督・コーチ指導のもと頑張っている。温水プールがあることで、練習環境としては恵まれている。また監督、コーチも経験者であり指導力も十分である。ただし、施設の老朽化が進み天井からのサビがプール内に落ちるなど安全面で改善を要するところも出てきている。剣道で子供達が高千穂に集まるように、他のスポーツでも環境の充実を図り、子供達がスポーツを通して心と体を鍛え、県、全国を目指せる環境の充実を図りスポーツの町高千穂を目指してはどうかと考える。</p> <p>以上の内容を踏まえ町長に問う。</p> <p>1 スポーツ環境の充実は考えているか。</p> <p>2 町は、スポーツによる子供の育成をどう考えているのか。</p> <p>3 全天候型運動施設（陸上競技場、テニスコート、グランドゴルフ場）を作ってはどうか。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
6	田中義了 議員	1. TR跡地の賃貸借契約に係る問題点と概要について	<p>1 高千穂あまてらす鉄道株式会社との普通財産賃貸借契約に係る問題及び同会社の概要について</p> <p>(1)同契約書には次の問題点があるが、町長の見解を伺いたい。</p> <p>①電車の利用は。</p> <p>②橋梁・トンネルの利用は。</p> <p>③令和5年度は高千穂鉄橋の維持点検を予定しているが、それを契約に書き加えるべきでは。</p> <p>(2)同会社の概要で不明な点があり、町長の知る限りで答えて下さい。</p> <p>①資本金と株主は。</p> <p>②法人税の納付先自治体は。</p> <p>③役員数とその住んでいる自治体は。</p> <p>④従業員数は。</p> <p>⑤利用者に対する保険は。</p> <p>⑥昨年3月同社から賃借料を年間60万円の申し出がありました。それに合わせたような賃貸料だが。</p>	町長
		2. 過去の業務契約に係る成果品の内容について	<p>2 令和3年度株式会社共同技術コンサルタントとの業務委託契約に係る成果品の内容について、町長の知る限りで答えて下さい。</p>	町長
		3. 災害による簡易水道の給水制限対策について	<p>3 向山北地区簡易水道の給水制限対策などについて、町長の見解を伺いたい。</p> <p>①水源池における対策は。</p> <p>②濁り水をろ過装置・浄水装置などで対処は。</p> <p>③県道に掛かる青葉大橋を利用しての給水は。</p>	町長
		4. 木のおもちゃ美術館の建設・運営について	<p>4 木のおもちゃ美術館の建設・運営について、町長の見解を伺いたい。</p> <p>①福岡県の木のおもちゃ美術館を視察されたと知るが、その時の感想は。</p> <p>②高千穂温泉跡の利活用が促進されていないが、もし、木のおもちゃ美術館を建設されるなら、木材産地の高千穂ならではの適材適所的な事業と思われるが、町長の見解を伺いたい。</p> <p>③昔から高千穂には子どもたちの遊び場がないと地元民はもとより観光客からも聞かれてきたが、町長の見解を伺いたい。</p>	町長